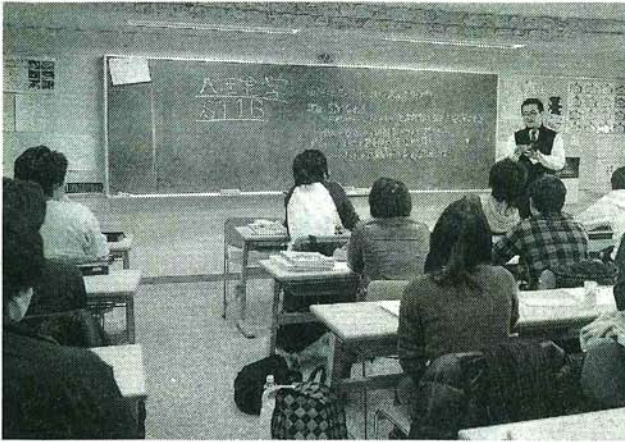


増える進路変更

live
とうほく



大学に比べ、就職に直結した内容が人気の専門学校
の授業—仙台リゾート&スポーツ専門学校

大学理想と現実 ミスマッチ?

大学を中退・卒業した後に専門学校に入学する学生が増えているという。資格取得やスキルアップを目指す意欲的な学生が多い一方、「大学で望んだ勉強ができなかった」と進路の「ミスマッチ」を口にする学生も少なくないようだ。

雑然とした講義

然としていて、聴くのも聴かないのも学生の勝手。先生に怒られる。それがダンスのインストラクター。それが合わなかった。自分を直すきっかけにもなるという。

で学ぶ仙台市の男性(21)は、昨年春、3年間通った宮城県内の大学を中退した。「大学の講義は雑

然としていて、聴くのも聴かないのも学生の勝手。先生に怒られる。それがダンスのインストラクター。それが合わなかった。自分を直すきっかけにもなるという。

同市の韓国人留學生の男性28も、母国の大学になじめずに中退した経験がある。第1志望ではなく、希望していた教職にも就けない学校だった。志願して軍に入り、除隊後は就職した。

2年半前にスポーツトレーナーを目指して来

日。家族に猛反対されたが、「大学を辞めなければやりたいことはできなかった」と、選択に後悔はない。

刺激与える存在

2人の通う仙台リゾート&スポーツ専門学校

(仙台市宮城野区)の教務主任を務める藤原高洋

資格取得・スキル向上図る

さん30によると、150~180人いる1学年のうち、それぞれ5~6人が大学中退・卒業者という。「東京校では5年ほど前から増加が目立ち、30人のクラスに3~4人いた。仙台も増え始めている」と話す。

大学で経験を積んだ学生は「積極的に学び、ほかの生徒のいい刺激になる」と藤原さん。一方「大学全入時代を迎え、目的なく進学先を決める若者が増えているのかもしれない」と安易な進路選択も気になっている。

仙台市内に4校の専門学校を持つ北杜学園でも、大学中退・卒業者の数は増えているという。現在は、4校の在校生のうち8%程度が大学中退

卒業者。資格取得など、目的意識のはっきりした学生が多いが、同学園は「不況の影響も見えてきている。就職が決まらずに大学卒業を迎え、専門

学校に願書を出すケースがある」と話す。

就職決まらず駆け込みも

リストラを警戒

高校生成る進路情報などを提供している「さんぼろ」(東京)は昨年1月、首都圏の大学や専門学校などを対象に「大学進学後の専門学校等への進路変更に関するアンケート」を実施した。大学・短大中退者の38%が「進路変更」を理由にしており、専門学校入学者に占める大学中退者の割合は1校当たり平均3.2%だったという。

大学中退者の動向は、これまでほとんど調査されていなかった。同社は『学びたい学問』と『現実的に学ぶ学問』が異なるミスマッチが多く起きています。専門学校で取得できる資格やスキルが就職に有利で、就職後もリストラなどに遭わなくて済むと考える学生が増えてきているのではないかと分析している。

(生活文化部・矢嶋哲也)